

木は1年に1回果実をつけ、それを収穫したあとは、長い冬を越えて再び翌年実をつけます。その実を確実に収穫して、次の収穫に備える準備をし、翌年再び実を収穫するという意味で「金のなる木」と名づけました。
【3～5年で資金3倍化を目指して】

NYダウ8000ドル割れ、再び買いチャンスへ …柴田野線では1/14に2回目の売転換で暴落暗示…

■■■柴田野線で読むNYダウ再暴落の可能性■■■

…世界経済は最悪のシナリオでも待ち伏せしている投資家には最高のシナリオ…

(1/19(月)の出島投資ワールドのメッセージより)

『12/25(木)のメッセージでは「NYダウからみた日経平均8000円割れのシナリオ」を書きました。これは柴田野線で11/24(月)に8443ドルで買転換が出現し、12/8に9151ドルまで上昇し、12/23に▲100ドルの8419ドルで1ヶ月ぶりの売転換出現となりました。特に12/23の▲100ドルの8419ドルのような陰線は何か隠れた悪材料がある場合が多く、多少戻りを入れたあと出てくることになるとなりました。その場合は8000ドルでは止まらず11/21の7449ドルを試す動きが想定されるともしました。

その後の動きは次々と悪化する経済指標や企業の下方修正にもかかわらずオバマ次期大統領の景気刺激策を期待して大きな戻りとなり1/2には9034ドルとなっていたん売転換状態が中立になり、1/6の9175ドル、まで上昇して、12/8の9151ドルに対するダブル天井をつくって急落となり1/14(水)には▲248ドルの8200ドルと再び売転換が出現しました。今回の2度目の売転換は10/23の▲100ドルの8419ドルは隠れた悪材料があるとしていましたが、それがより確実なもの(つまり暴落)となる可能性を示していることとなります。

そして、翌日(1/15)の日本市場は一時7997円と8000円を割り、終値は▲415円の8023円となりました。同じようにこの日のアメリカ市場は一時8000ドルを割る7995ドルをつけて終値は△12ドルの8212ドルと反発しましたが、このような日足での長い下ヒゲの短い陽線というものは、あとで実体で7995ドルを埋める動きとなるのがふつうです。

このシナリオが壊れるには、オバマ次期大統領が景気対策の思い切った上乗せをして、1/6の9175ドルを終値でいったん上にぬけた場合に限りです。しかし、オバマ新大統領の就任式前にこのような売転換が出現してくるということは、経済刺激策の少々の上乗せぐらいいはすでに織り込んでいるともみることができます。

本日は、寄り付き後は1/14の8359円のマド埋めの動きとなって8351円まで上昇しましたが、完全に埋めきれず、後場からは一時マイナスに転じる場面もあり、大引けは△26円の8256円の小幅続伸で引けました。明日オバマ新大統領の就任式を控えているわりには上値が重すぎるといえます。今週は、もう少し戻せるにせよ、もみあいになるにせよ下落を待っての様子見となります。』

そして一昨日(1/20)はオバマ大統領が就任式で強い決意を示すものの世界的な金融危機が再燃し、金融セクター中心に大幅下落となったことで、NYダウは▲332ドルの7949ドルと8000ドルを割り込み、ナスダックは▲88Pの1440Pとなりました。NYダウは、まずは11/20の7464ドルを試す動きとなりますが、そうすると日経平均は昨年11/21の7406円を試す動きとなります。まずは7500円水準で1回目の買いでよいでしょう、その場合、個別銘柄で買いポイントまで下落しない場合は日経平均の動きをみて、例えば7500円水準になった時に、そのタイミングで成り行き買いするという方法もあります。次に2回目の買いを10/28の6994円の水準で待つこととなります。私は今回の柴田罫線の暴落暗示からは売り方の勢力がかなり強く(つまり2回も売転換がでるということは、そこで強力な売り仕掛けがはいつていることを意味する)11/21の安値7406円を割っていく可能性もあるとみていますが、そういう相場の動きになればオバマ新大統領が追加の対策を出すことも考えられます。そうなればNYダウが7000ドル水準(もしくは7000ドル割れ)まで下がらず、日経平均も7000円水準まで下落しない場合もあります。まずは7500円水準で1回目を買うところです。

昨日(1/21)の日経平均は、NYダウの急落と為替の円高を受けて7829円まで下落するものの、アメリカのグローベックス先物がしっかりしていたことで買い戻しが入り、一時8009円まで戻しましたが大引けは▲164円の7901円となりました。ただ、悪材料が続出しているわけでもないし、オバマ新大統領が誕生したばかりですので、ここからは戻りを入れながら安値を切っていくという動きになるかもしれません。多少戻ると買い損なつたとあせったりしますが、そこが我慢する大切なところとなります。

昨日のアメリカ市場は、FRBや政府が銀行へ介入するのではないかとの見方から金融不安の再燃がいったん弱まり、バンカメやシティーが急反発したことで金融株が指数をけん引し、NYダウは△279の8228ドルとなりました。次はこの戻りを試したあと7936ドルを切ってくると7500ドルを試す動きとなってきます。

本日の日経平均は、朝方はアメリカ株式が大幅高となったものの為替がイギリスを始めとするヨーロッパの金融システム不安から相対的に円が買われる動きとなり、NY市場では13年ぶりの1ドル=87円10銭となっていたこともあり、日経平均は前場は7809円まで売られました。後場になると為替も円安方向となったことや日銀の政策金利据え置きもあり、ジリ高となって△150円の8051円で引けました。8230円を終値でこえると、もう少し戻りがありますが、そうでなければすぐに下落となって7880円を切ると7500円を試す動きとなります。



2007年7/17の14020ドル、10/11の14198ドル、12/11の13780ドルと柴田野線及び週足での売転換となって下降トレンド(A)を形成し、次に2008年の5/19の13136ドルを戻り天井にサブプライム問題が表面化し8/11の11867ドルを戻りの2番天井にして暴落となって急激な下降トレンド(B)へ移行し、11/20の7464ドルの安値をつけました。ここから政府による公的資金の注入などの金融政策やオバマ次期政権の景気刺激策への期待から12/8には9151ドルまで反発しました。ここからは下落となって12/23に8419ドルで売転換(隠れた悪材料ある下落)となったものの、オバマ大統領の就任式を控えて経済悪化の実態を無視する上昇となって1/6に9175ドルまで上昇し、再下落となって1/14には8200ドルで2回目の売転換が出現しました。翌日は一時7995ドルをつけて反発となっています。11/15の7995ドルまでの長い下ヒゲの短い陽線はあとで実体で埋めてくる確率が高い形といえます。すでに12/2の8072ドルの安値を切りましたので7500ドル台まではフシらしいフシはありません。戻りを試したあとは要注意となります。

買ポイントは、その後の株価の動きによって多少修正することがあります。修正したところは のマークがあります

今回(1/22)の買推奨銘柄

業種	コード 銘柄	規模	配当	PBR	バブル後 最安値	日経平均 6994円 10/28前 後の安値	1/22 終値	買ポイント	材料・テーマ ・ポイント
非鉄	5805 昭和電線 HD	小型	無	0.44	2002年 11/18 41円	12/19 55円	72円	60円台 50~55円	光ファイバーな どの電力インフ ラ事業で米国の 需要が見込める
科学	4208 宇部興産	大型	有	1.56	2002年 2/7 89円	11/21 149円	205円	180~190円台 160~170円台	電気自動車のリ チウム電池関連。 太陽電池

1/8の買い推奨銘柄

業種	コード 銘柄	規模	配当	PBR	バブル後 最安値	日経平均 6994円 10/28前 後の安値	1/22 終値	買ポイント	材料・テーマ ・ポイント
非鉄 金属	5741 古河スカ イ	中型	有	0.68	2005年 12月 会社設立	10/28 134円	186円	170~180円前後 150~160円 140円前後	・リチウムイオン 電池関連 ・エネルギー、エ レクトロニクス、 マテリアル
電気	6504 富士電機 HD	中型	有	0.50	2002年 11/18 173円	11/21 99円	113円	100~110円前後 80~90円	・固体高分子型燃 料電池 ・有機EL ・低環境負荷型の 自動販売機開発
機械	6361 荏原	中型	有	0.65	2002年 11/18 320円	10/28 149円	199円	170~190円前後 150~160円	・家庭用燃料電池 の本格販売へ ガス化溶融炉、半 導体研磨装置 ・環境技術

12/18の買推奨銘柄

業種	コード 銘柄	規模	配当	PBR	バブル後 最安値	日経平均 6994円 10/28前 後の安値	1/22 終値	買ポイント	材料・テーマ ・ポイント
鉄鋼	5479 日本金属 工業	小型	有	0.5	2002年 11/19 42円	12/4 98円	112円	98~110円前後 70~80円	ステンレス国内 大手。自動車車体 の強度を保つた めのステンレス 金属を開発

12/4 の買推奨銘柄

業種	コード 銘柄	規模	配 当	PBR	バブル後 最安値	日経平均 6994 円 10/28 前 後の安値	1/22 終値	買ポイント	材料・テーマ ・ポイント
鉱業	1518 三井松島	小型	有	1.1	2002 年 11/19 49 円	10/28 110 円	125 円	100 ~ 120 円前後 80 円	再度の買い
機械	6369 トヨタ	中型	有	0.88	2002 年 11/19 48 円	10/28 88 円	156 円	130 ~ 140 円前後 110 ~ 125 円	再度の買い
建設	1816 安藤建設	小型	有	0.44	2001 年 12/19 90 円	9/5 116 円	149 円	110 ~ 130 円 100 円前後 80 ~ 90 円	持続
繊維	3103 ユニチカ	中型	有	0.71	2002 年 11/18 30 円	11/21 56 円	64 円	50 ~ 60 円 40 円台 30 円台	持続
繊維	3106 クラボウ	中型	有	0.39	1998 年 10/19 104 円	10/27 107 円	144 円	100 ~ 130 円前後 90 円前後	持続
非鉄	5701 日本軽金 属	大型	有	0.49	2001 年 12/13 59 円	10/10 72 円	75 円	65 ~ 72 円前後 60 円前後	持続
非鉄	5738 住友軽金 属	中型	有	0.65	2001 年 12/18 45 円	10/8 66 円	84 円	60 ~ 70 円台 50 円台 40 円台	持続
造船	7003 三井造船	大型	有	0.85	2000 年 3/2 56 円	10/28 103 円	142 円	110 ~ 120 円 80 ~ 90 円 60 円台	日経平均の 9000 円台ではいあっ たん利食いアド バイス。 新規 130 ~ 140 円
造船	7004 日立造船	中型	無	1.05	2002 年 11/18 38 円	10/10 66 円	84 円	60 ~ 70 円台 50 円台 40 円台	持続
金融	8411 みずほ FG	大型	有	0.93	2003 年 4/28 58300 円	10/28 19 万円	220 円	190 ~ 220 円前後 160 円台 130 円台	日経平均の 9000 円のせでは利食 いアドバイス再 び買ポイントへ

日経平均が 9000 円台にのせれば、いったん利食いもよいとしていましたので、利食った人は再度の買いとなります。

柴田野線「諺」一〇八話集

(柴田秋豊氏の長男)野線継承者 柴田 豊秋

～ 柴田野線「諺」108話集への思い ～

想い起こせば十九才より父に弟子入りし野線に携わってから私も七十七喜寿を迎える年齢となり人生も残り少なく頭の回転が衰えない記憶がある内にと思い老骨に鞭ち打ち最後のご奉公と筆を取りました。古来文人が掛軸にかかっている達筆でもなく誰でも読める自筆で執筆いたしました。

親子二代、八十数年を過ぎ父秋豊研究奥儀の数々を基礎に研究改良をし史料を発表しなければ親子二代後世に悔いを残す、あらゆる奥儀を発表する時期だと思い立ち著述に至りました。

私達軍国主義時代に育った年齢は悲しいかな子供、孫達も簡単に打てるパソコン、英語が大の苦手、原稿も自筆で文章も次々と浮かぶ苦勞の連続であり今日迄書き留めた連載、父秋豊から教えを受けた事、私が長い相場界で気づき疑問に思った事を「諺」として著述にからめ今後野線投資に携わる人達の迷った時の一助になれば幸いと思っています。

古来の文人が掛軸にかかっているのは達筆で我々凡人には仲々読むことが出来ません、父からは文字は下手でも良い誰でも読める字を書く事と云われていたが、素人の事、文法上の誤り文面で重複することもありますが一話一話に意味が違いますので支障はありません。確かに父が研究し編み出した野線観測、棒足順張り、逆張り、鉤足を発表して北海道から日本橋に移り住み野線の復興に取り組んだが北海道の野線屋一と揶揄され軽視されました。今日では野線は「チャート」と呼ばれているが私は野線と云う単語に愛着があり今後も野線という文章一本で表現したいと思っております。

当時を振り返ると悔しく、辛い時期もあつたが父の供をして一世を風靡した「赤いダイヤ」のモデルといわれた佐藤和三郎氏、売の山種と語り草となった山崎種次郎氏、立花証券の創設者独眼流のペンネームで執筆石井久氏、数々の相場師に会いお話をさせて戴いた事は相場観測の違ひこそあれ、当時若かった私の人生の宝と思っており感謝しております。普通なら後身に譲り隠居する歳ですが、父を初め諸先輩に追い付き追い越せの気持ちで筆を持ち書きつづけ死が来る迄、研究、野線追及してゆきたい。

何如に奥儀を会得理解していても資金面様々の事情から大勢、中勢、目先、日計り売買に自ずと比の場面で果たして途転か利喰いか若しくは手仕舞いかの決断に迷いが生じたときの助となればとの思いから野線観測から見た一〇八話を今日迄の成功、失敗から感じた体験を「諺」として纏め投資の一助となればとの思いです。古来「諺」は古典古人の先駆者、先祖、先人から言い伝えられた人類の智慧の結晶だと思っている。日常何気なく使われている諺は誠に意味深い。

あらゆる科学が発達した現在と違い、天候の雨、雪の量、寒さ暑さから作物の種蒔き収穫時、日常の生活に密着し、「諺」として残り実際に何気なく伝えられ使われている。

私も含め何如に奥儀を吸収、理解していても必ずや出動に欲が付きまとい迷いが生じる事もある。比の「諺」は投資の心得として読んで戴きたい。柴田野線「諺」一〇八話集は相場投資、人生の奥儀とも思い信じている。投機、投資家は元より、相場に関係ない経営者、個人の皆様にも一読して戴き、人生の一翼となれば幸と思っています。

豊秋

※このページは初めての方のために毎回記載します
柴田秋豊氏に興味がある方は自伝を漫画化したものがあります。ズバ株 HP のトップページにございます
<http://www.zubakabu80.com/>

第一話 袖すり合うも他生の縁

昔から語り伝えられた諺であるが、私達は職業上各界の投機、投資の研究家の諸先輩、投資家のありとあらゆる職業の方々とお会いし、一億二千万人日本の何処の誰とも知らぬ人達との出会い、比れ皆「縁」であり比の縁を有意義な価値ある「縁」とするか「怨」とするかは各自の人生観が深く関与してくるものと思いますが、信頼ある良き「縁」となるように今後も献身的な努力が必要と思っております。

第二話 研究が先か張るのが先か

第二、三話は私の「座右の銘」としている言葉であり罫線観測の原点はこの二話に尽きると思っている。

投機、投資は相場の先行きを観測し、勝ち儲ける事が目的である事は誰も解っており想いは同じである。唯、人間の心理的に一刻も早く儲けたいとの気持ちが先行きし研究は後回しとなるのが一般投資家であり、研究に費やす多少の費用を惜しみ投資の恐さを身を持って味わい後悔する。研究して納得し始めて出動すべきであり、父秋豊も同様に素人の悲しさ、経験も無く勘に頼り無鉄砲に米穀相場に手を染め破産の憂き目に合い、苦悩の末罫線との出会い、罫線研究一筋に生涯を捧げた。数十年後の今日解る解らないは別として世界中の投資家が罫線を参考としている事は親子二代八十数年の努力が報われた思いで感無量。

第三話 法則なき罫線は唯のグラフ

私達親子三年一ヶ月をかけて父秋豊が五十年の研究を纏め発表をした「天底と転換罫線型網羅大辞典」B五版五百頁を辛苦の末、順張之巻、逆張之巻を完成、勇躍意気揚々と東京に進出したものの、株式・商品業界・新聞・雑誌等で軽視・邪揶揄弄された。確かに著書発表前は材料、仕手の動き、早耳筋の情報等で売買されていたが、罫線観測には法則が「型」で騰落が表れる事を立証した。「相場に行き止まりなし」の格言があるが正に其の通りで罫線が先行きを示し証明している事を長年の統計が法則の「型」として指示している